

ひと・まち・カラフル

おおたの窓から

地域であざやかに活躍する「ひと」。

十人十色のひとが調和する「まち」。

おおたの窓を開けると、飛び込んでくるのは、いきいき、カラフルな地域の風景です。

view
7

まつ乃家 えい た ろう 栄太朗



二代目女将 栄太朗 さん

伝統文化を守ることにへの
思いを教えてください。

かつて花街としてにぎわっていた「大井海岸」を盛り上げるため、日本で唯一の女形芸者として活動しています。母が元々この街で女将をしており、10歳の頃からお座敷に立つ機会がありました。22歳の時に母が他界し、女将として跡を継ぐことになったのです。当初は生活のためという心持ちで活動していましたが、コロナ禍を経て、「伝統文化は、自然に続くわけではない」と痛感したのです。そして、多くの人々の目に触れることが、次世代に文化を残すために大切だと考え、活動するようになりました。メディア発信や海外での活動など、羽田空港のある大田区だからこそ、インバウンドに向けた活動にも力を入れていきます。区民の皆さんに「こんな

人が近くに
いるんだ」
と知ってもら
うことで、少しで
も地域、伝統に目を向けて
もらうきっかけや勇気を与
えられたらと思っています。



男性の芸者としての活動
を教えてください。

注目される反面、自分がマイノリティの立場だと感じる場面は多々あり、女将になったばかりの頃は、「女性らしくしなければいけない」と無理もしていました。しかし、次第に気づいたのは、芸者としてお座敷に呼ばれるということは、お客様が自分にしかできないものを求めているのだということ。今では、自分らしさを大切に、自身が持つ個性と魅力を通じてこの文化を発展させたいと考えて

ようになりました。最近
はなんでも先回りし
て調べて、失敗をしない
ようにする人が多いの
ですが、若い頃の失敗や悩
みは、自分らしく生きるた
めに必要な過程なのと思
います。先輩のなかには92
歳まで生涯現役だった方も
いらつしやいます。そんな、
一人ひとりの人生の豊かさ
が芸者の魅力となります。
その魅力を多くの人に感じ
てもらい、地域とともに歩
む未来を築きたいと考えて
います。



My Favorite View

おおとり 大森鷲神社

芸者衆のお稽古をする場所として使わせていただいています。どんどんお稽古をする場所が減ってきてしまっているなか、こうした地元の方々のサポートはとてうれしく、大切にしていきたいと感じています。(まつ乃家 栄太朗)

